

会 議 録

1 会議名

令和８年度第１回 上越市人にやさしいまちづくり推進会議

2 議題（公開）

- ・第６次人にやさしいまちづくり推進計画方針（案）について
- ・第６次人にやさしいまちづくり推進計画の策定に向けた各分野における課題について

3 開催日時

令和８年６月３日（水）午後２時から

4 開催場所

上越市市民プラザ 第２会議室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者

- ・委 員：藤井会長、白倉副会長、佐藤委員、青木委員、渡部委員、田村委員、
室岡委員、丸山委員、堀口委員、近藤委員
- ・事務局：総合政策部 石井部長
多文化共生課 水澤課長、山本参事、市村係長、内山主任

8 発言の内容

【議題1：第6次人にやさしいまちづくり推進計画方針（案）について】

■ 説明

- ・事務局より資料No.1-1、1-2、1-3により説明

■ 質疑応答

- ・質問／意見：資料における障害者数の近年の傾向について、年齢別・世代別により詳しい分析が必要ではないか。また、「意識上の障壁」に関する表現の中で、障害や高齢といった特定の困難を抱えている人に対する同情的な文言が含まれているが、それ以外にも様々な困難を抱える人がいるという視点が弱くなっているのではないか。

→回答：年齢別の詳細な分析については、必要に応じて整理を検討する。表現については、同情や哀れみを前提としたものとならないよう配慮する必要があるとの指摘として受け止め、誤解を招かない表現となるよう見直しを行う。

- ・質問／意見：働きながら子育てや介護を担う人が増えており、両立が難しい現状がある。事業所側の理解や制度的な支援が重要であり、第6次計画の基本方針の中でも位置付けてほしい。

→回答：ワーク・ライフ・バランスの推進や、事業所への働きかけは重要な視点であり、関係部署と連携しながら、計画の中でどのように反映できるか検討していく。

- ・質問／意見：市民や事業者に計画に関する情報が十分に届いていない。文言の整理だけでなく、どのように周知・広報していくかという視点を基本方針の段階から重視すべきである。

→回答：情報発信や周知の在り方は重要な課題であり、計画を策定する中で、効果的な広報・啓発の方法について検討していく。

- ・質問／意見：人にやさしいまちづくりを進めるうえで、制度やハード面だけでなく、市民一人一人の意識の変化が重要であるが、その点をどのように捉え、施策として示していくのかが分かりにくい。

→回答：意識の変化は数値化が難しいが、市民意識調査などを活用しながら把握に努め、今後の施策の検討や評価に反映していきたい。

【議題：第6次人にやさしいまちづくり推進計画の策定に向けた各分野における課題について】

■説明

- ・事務局より資料No.2により説明

■質疑応答

- ・質問／意見：資料に示されている課題は、各担当所属等から挙がってきた内容を整理したものか。また、今回の会議で出された意見は、今後どのように扱われ、計画に反映されるのか。

→回答：第5次計画における課題を基に、各所属で改めて確認し、整理したものである。今回の会議で出された意見については、今後の計画案の検討や整理の中で反映していく考えである。

- ・質問／意見：子育て支援に関して、制度自体は整ってきているものの、必要な人に情報が十分に届いていない。育てることと働くことが分断されている現状があり、情報の届け方や仕組みづくりが課題ではないか。

→回答：情報発信の在り方は重要な課題であり、今後の施策検討の中で、どのように分かりやすく届けていくかを検討していく。

- ・質問／意見：「人材の育成」に関する記載について、育成の主体が企業なのか、市なのか分かりにくい。また、職業訓練や学び直しについて、どのような取組を想定しているのか。

→回答：企業が行う人材育成への支援、市が実施する取組、個人がスキル向上を図る取組のいずれも含まれている。職業訓練機関やハローワーク等による支援も含め、整理していく必要がある。

- ・質問／意見：意識上の障壁を取り除くためには、市民が理解しやすく、目にしやすい形での広報・啓発が不可欠である。ホームページだけでなく、町内会や各種団体等に直接届く方法を検討してほしい。

→回答：庁内での周知や、事業所・地域団体と連携した啓発など、さまざまな機会を活用した情報発信が重要であり、今後の施策の中で工夫していきたい。

- ・質問／意見：若者や高校生に対する施策について、多世代交流の場や学びの場として既存施設を活用できないか。また、若者支援の考え方は計画の中でどのように位置付けられているのか。

→回答：高校生をはじめとした若者が主体的に活動できる場を支援する考えに変わりはなく、既存施設の活用や補助制度による支援を行っている。発信力の強化が課題であり、今後も検討を進めていく。

- ・質問／意見：子育て支援と「子どもを中心にした視点」は異なるため、子どもを軸にした課題整理も必要になるのではないか。

→回答：これまでの取組や実績も踏まえ、どのように計画の中で整理・位置付けるかについて、今後検討していく必要がある。

- ・質問／意見：住宅の安全対策について、耐震診断制度はあるものの、改修に係る支援制度がないために補強につながっていない実態がある。

→回答：いただいた意見については関係部署と共有し、今後の検討に生かしていきたい。

9 問合せ先

総合政策部多文化共生課多文化共生係

TEL :025-520-5681

Mail : unit-kyousei@city.joetsu.lg.jp